

# 和歌山の夕焼け

林 婉穎  
教育学部 交換留学生 中国

いつの間にか、和歌山に来て3ヶ月になっていた。

この3ヶ月で一番印象に残っているのは、和歌山の夕焼けだ。私の部屋は西向きなので、日が暮れて美しい夕焼けを毎日見ることができる。

和歌山の夕焼けは色彩豊かで、まるで画家のパレットのようだ。時にはオレンジ色が空に撒かれ、燃えるような火のように見える。時にはピンクや紫が雲間に染まり、美しい神話のような風景となる。毎日見る夕焼けは唯一無二で、見るたびに私はよい気持ちになる。一生忘れることはない。

和歌山に来たばかりのころ、私は夕日や夕焼けを眺めるたびに、家族や故郷のことを思った。中国の古詩にある「夕日が西に沈んで、断腸の思いをしている旅人は空のはてにいます。」という言葉は、故郷を離れている旅人が夕日を見た時に深く思う姿を表現している。夕日は限りなく美しく、ただもう黄昏に近い。

しかし、和歌山の先生や友達と楽しい時間を過ごした後、再び夕焼けを眺めると、私は今までにない静かさと温かさを感じるようになった。

ある日、夕焼けが特にきれいだったことを覚えている。その日、太陽がゆっくりと西に沈み、明るさから鮮やかなオレンジ色に変わっていき、雲海に映し出された。そよ風がそっと吹き、遠くの飛行機が空を横切り、大阪に向かって降りていくのが見えた。私はバルコニーに立ち、飛行機に乗っている人たちがこれからどのような旅を始めるのかに静かに思いを馳せながら、空の果ての夕焼けに黙って凝視し、その静けさと温かさを感じていた。

それは言葉を越えた感覚であり、私の心の安らぎや目標に再び集中することができる。それは私とこの土地との深い絆だ。それは和歌山の夕焼けであり、私の留学生活における美しい瞬間である。





# 和歌山的晚霞

林 婉颖  
中国

不知不觉，来和歌山已经快三个月了。在这三个月中，我印象最深刻的就是和歌山的晚霞。我的房间朝向西边，因此每天都能看到日落的余晖和美丽的晚霞。

和歌山的晚霞色彩斑斓，如同画家的调色板。有时，天空洒下一抹橙红色，宛如燃烧的火焰；有时，云层中晕染着粉色和紫色，宛如美丽的神话。每一天的晚霞都独一无二，给我留下无比美好的回忆和感受。

刚来到和歌山时，每当我注视着落日晚霞，都会不禁想起我的家人和故乡。正如中国古诗所说的：“夕阳西下，断肠人在天涯。”这句诗描述的就是在外漂泊的游子看到落日晚霞时对故乡深深的思念。夕阳无限好，只是近黄昏。

然而，随着时间慢慢的推移，在与和歌山的老师同学们度过许多快乐的时光之后，当我再一次看到天边泛起的晚霞时，我从中感受到了前所未有的宁静和温暖。

我记得有一天，晚霞格外的绚丽。那天太阳缓缓西沉，从明亮渐渐转变为绚丽的橙红色，映照在云海上。微风轻轻拂过，远处的飞机划过天空，往大阪方向降落着。我站在阳台上，默默想着飞机上的人们即将开始怎样的旅程，静静凝视着天边的晚霞，感受着它带给我的宁静与温暖。

这是一种超越语言的感受，让我重新聚焦内心的平静与目标。这是我与这片土地建立起的深厚联系。这是和歌山的晚霞，是我留学生活中一个美好的瞬间。